

平和学園とつながる皆さんへ

こんにちは。十数年前に平和学園を卒業した秦 まりほです。

今回は“Stay Home“、つまり「お家にいましょう」という歌を、ヨーロッパの国オーストリアのウィーンから、わたしの双子のまりなとともに、この曲を作曲・作詞した母のピアノに合わせて歌いました。

オーストリアでは、3月半ばから約1ヶ月半の間、ほとんどのお店は閉まり、一緒に住んでいる人でなければ友達であろうが、家族であろうが会えない、という日々が続きました。

「大好きな人に会いたい」はじめはそんな気持ちでいっぱい、毎日だれとも会わないで家にいる、それがどんなことなのか心がついていけないまま、必死で家にいる、そんな感じでした。

「大好きな人に会いたい」そう思えるのはとても幸せなことだと思っています。

でも、今回、このほとんどの人にとって初めてのことが起こっているいま、「好きだから会う」のではなく「好きだから会わない」ことが、“繋がる”という輪になっています。

「お家にいましょう、あなたの家族のために。お家にいましょう、わたしの家族のために。」この曲の歌詞の一部です。

大事な人からその人の大事な人へ…「お家にいる」という優しさは、見えないけれど、確実に広がっていくと思っています。

でも、やっぱり疲れる時、寂しい時、不安な時もあります。

わたしにとってこの曲は、今「家にいる」ことは、逆に身近な人と、大好きな人と、そして世界と「思いで、心でつながる」ことなんだ、ということ思い出せる曲です。

オーストリアでは、5月から、また親しい人と会うことができるようになりました。なかなか時間がかかるかもしれませんが、も、「見えない優しさの輪」を一人一人が自分で考えてはじめることができれば、また会うことができる日はきっと近づきます。

はじめてのことに対応しつつ、皆のために色々な案や対策を考えてくださる方、命を救うため、安全や生活を守るため日々働きに出られる方、家にいることで皆の安全を守る方…

尊敬と感謝、愛をこめてこのメッセージをおくります。

2020年 5月2日、秦 まりほ